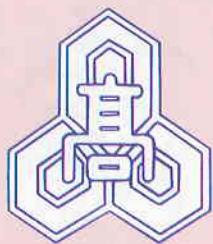


大田高校 P T A 広報



泰山木

Taisanboku

第96号

平成25年 3月 1日

島根県立大田高等学校
P T A 総務委員会



「一隅を照らす」ということ

校長 白井 泉

私は、今日の卒業式の式辞で、卒業生の皆さんに「一隅を照らす」という言葉を送ります。その出典を明らかにするとともに、自分なりに考えたその意味を知っておいてもらいたいと思って、この泰山木に寄稿することになりました。

「一隅を照らす」は、平安時代に比叡山延暦寺を創建し、日本仏教の礎を築いた最澄が『山家学生式』という書物の中に遺した言葉です。ですから今から千二百年位前の言葉ということになります。

「国宝とは何物ぞ

宝とは道心なり

道心ある人を名づけて国宝と為す

故に古人の言わく

径寸十枚是れ国宝に非ず

一隅を照らす

此れ則ち国宝なり」

「一隅」とは「私たち一人ひとりが生活している場所」、「照らす」とは「精一杯がんばり明るくすること」で、私は「一隅を照らす」とは「私たち一人ひとりが社会のどこにあっても、精一杯がんばり、誰かのために役に立つ人になる」という意味に捉えています。

径寸は金銀財宝のことで、最澄は金銀財宝は国の宝ではない、一隅を照らすことが国の宝であると書いています。

一九四五年以降、日本人は長い間、アメリカをモデルにして、物質的豊かさを追い求めてきました。そして、たゆまぬ努力の結果、GDP世界第二位という地位を築きました。

しかし、一九九〇年代初めのバブルの崩壊に始まる経済の停滞、さらに二〇一一年の東日本大震災を経験して日本人は、幸福の指標を物質的豊かさから心の充足度に、大きく変えようとしています。

人間は一人では生きていけませんから、私は周りの人たちとの人間関係が、心の充足度に大きく影響するのではないかと考えています。四月以来、「自分で誰かの役に立っていると思える行動を」と言い続けたのは、こういった理由があります。

今日母校を巣立つ卒業生の皆さんには、社会の荒波にもまれて自分を見失いそうになったとき、「一隅を照らす」という最澄の言葉思い出し、勇気をもって前に進んで行ってもらいたいと思います。



贈る言葉 保護者より

石に立つ矢

山崎延之

入学時、これからの三年間も無遅刻無欠席で頑張るとの口約で入学し、早いもので卒業の日が近づきました。

中学校を含め六年間、口約通り。改めてたいしたものだと思っています。

部活の陸上も、九年間続けることが出来ました。共に汗した素晴らしい仲間のこと、御指導頂いた先生方、数多くの方々の支えに感謝してください。

二年、三年と続け、県高校文化連盟文芸専門部(小説の部)で優秀作となり、全国総文祭に出場できたこと、一瞬(お前は誰の子)文才がノノ意外性に大変驚きました。

これからの新たな歩みにおいても、(石に立つ矢)、一念を込めて事に当たれば、難事でも成しとげられる。故事のごとく一層の挑戦、飛躍を期待しています。

卒業おめでとう。

バレー部で培った筋力で

眞田 一

卒業おめでとう。合格発表の日までやきもきしたことが、つい昨日のように思い出されます。

入学前に「部活はしない。」と公言し、小三から続けてきたバレーをやめる気持ちでいたのに、ひよんなことから、また続けることになり、三年間みっちりしごいていただきました。あまり愚痴や悩みは口にしない方なので、本当の気持ちにはよく分かりませんが、部活の厳しい状況は、聞いたり、試合の応援に行ったりすることで分かりました。

厳しい練習のおかげで太ももは、みごとに筋肉のかたまりになり、目には見えませんが、たぶん心の筋肉もかなり付いていることと思います。

これからもバレー部で培った心と体の筋力で、体力派保育士を目指してください。応援しています。先生方には三年間、たいへんお世話になりました。

「感謝」

重田 聡

「はい!!」と、ひときわ大きな返事が体育館に響き渡ったのは、三年前の入学式だった。

小学校で最初に『大きな声で返事を

する』ことを習ったはずだが、いつの頃からか出来なくなっていた。久しく聞けなかった『大きな返事』を聞いて、親として嬉しく、またこれから始まる三年間に期待を抱いたことを思い出す。小さいころから野球好きで高校でも迷わず野球部に入部し、野球漬けの毎日を過ごしてきた。この間、チームメイトをはじめ、先生、OB、後援会、地域の方々の応援もあり、投げ出すこともなく密度の濃い時間を過ごさせていただいた。こちらはその時間を共有し、また保護者の皆さんとつながりが持てたことは大変貴重な財産となった。親子共々この三年間に感謝。そしてこの三年間を活かし、次なるステージでの活躍を。

巣立ちゆく貴女へ

栗本 智子

入学して三年。早いものです。今は成長した娘の姿に目を細めています。

入学当初、教室には中学時の十倍近いクラスメートの数。一人ボツンと気後れしてないだろうか、それだけが毎日気がかりでした。娘は娘なりに気をつかってか、今日の出来事を毎日話してくれました。三年間休むことなく。

多くの人と関わることで、いろいろな問題、葛藤を繰り返し、心が折れる

こともあったかと思っています。「いつも通り変らず接して。」と上の娘からのアドバイスに「いつも変らずにいること」の難しさを痛感しました。

卒業後は親元を離れての生活です。新しい環境の中で新たに人間関係を築いていかなければなりません。何が起るかわかりません。どこにいても、いつも変らずエールを送り続けます。貴女らしく。一步一步。前へ前へ。

スタートライン

小谷 直美

当たり前のことのようにですが、平和なこの地に生まれ育ち、高校卒業の日を迎えられることを感謝します。

この三年間は短いようでも中身の濃い三年間だったと思います。

これから先、今までよりもっと多くの人達との出会いがあると思いますが、これまで縁あって知り合ったたくさんの人達との絆を大切にしてください。

また、壁にぶつかることもたくさんあると思います。でも、夢や希望を忘れず、そして周囲の力も時に借りながら突き進んで行って下さい。必ず道は拓けると思っています。何度でもスタートラインに立ってやり直せば、きっと大丈夫ですノ

卒業おめでとう。

これからも、ずっと応援しています。

三年生からの メッセージ

高校生活を振り返って

一組 菅 信 亮

三年間を通して最も印象に残っているのが、明るい校風です。大高には勉強ができる人、運動能力の高い人、顔が広い人など、様々な人がいますが、僕が出会った人は皆活気のある人ばかりでした。大高に入学する前から、毎日活き活きと楽しく過ごせる高校に行きたいと思っていたので、大高は理想的でした。お陰で勉強、部活動、行事などに力を注ぐことができました。地元恵まれた高校があつて良かったです。

二組 徳川 顕 真

自分の高校生活の三年間はあつと言う間に過ぎていったように思われます。その中で一番記憶にあるのは部活動のことです。一年生の頃から三年生の卒業が近づいてきた今までのいろいろな出来事がありました。たくさんの方の出会いがあり、別れがありました。そして、その様々な出来事のおかげで精神的にも身体的にも大きく成長することができました。これからたくさんの方の事があると思うけど今までの思い出して頑張っていきたいと思っています。

三組 麻尾 大 斗

私にとって大田高校での三年間は、とても濃い時間となりました。様々な

事に対して中途半端だった私は、周りの友達や先輩方、後輩達、先生方には迷惑をかけたと思います。でも、嫌な顔せず皆さん全力で応えて下さいました。とても感謝しています。心良い人達に恵まれた私の高校生活は、良い思い出であり、全てが一生の宝物です。大田高校で培った事を活かし、これからの自分の夢の実現に向け頑張っていきたいと思っています。

四組 塩 谷 葵

今思うと高校生活は長いようでとても短いものでしたが、とても充実したものでした。嬉しいことや楽しいことも沢山ありましたが、悩んだこともありました。しかし、そのようなときに先生や家族の助けがあり、こうして進学することができ、感謝しています。大田高校で三年間過ごすことができ、本当に良かったです。これから自分の夢の実現に向けてがんばっていききたいと思っています。

旅立ちによせて

一組 本田 里 花

私の大田高校での三年間はあつという間に過ぎていきました。その三年間はとても充実していて、私にとってかけがえのない時間でした。

春からは、新しい生活が始まります。暮らす環境も、学ぶ環境も全てが今までとは違います。その中で、新しい友達や、自分のやりたいことを見つけていけるような前向きな気持ちでいたいのです。大学では、高校での経験を生かし、

自分らしく精一杯頑張ります。私を支えて下さった先生方、友達、家族に心から感謝しています。

三組 月 森 詠 美

私は高校生活の中でたくさんの人に支えられているということを実感しました。協力しあった友人、アドバイスをしてくださった先生や先輩、そして何より家族の支えがあつたからこそ、私は充実した三年間を過ごすことができました。私はこれから県外に出て生活していくことになりました。地元を離れることはとても不安です。しかし、今まで支えてくださった人に感謝してこれから頑張っていきたいと思います。

五組 中 島 菖 子

高校生活はあつという間に過ぎ、この春から皆が別々の道を進みます。私はこの三年間で、勉強から得る知識だけでなく、仲間の存在の大きさや大切さ、また、目標に向かって一生懸命になることの面白さなどを感じることができました。これからの生活において高校生活での経験は、とても役に立つものであると思っています。この三年間多くの面で私を支えてくれた沢山の友達や先輩、先生方や家族に感謝し、これからも前を向いて頑張ります。

後輩へのメッセージ

一組 恒 松 汐 実

私は、皆さんに常に目標を持ち、忙しい毎日を過ごしてほしいです。私は部活や勉強のこと、皆勤賞を目標にし

努力することによって精神的に強くなれたと思います。何もない日々を過ごすよりは、忙しく過ごした日々の方がとても充実し、意味のある高校生活であると思います。大変なこと多いですが、それを自分の糧にして大切にしたいです。皆さんが受験で良い結果を出せるように応援しています。

四組 幸 村 怜 央 奈

卒業間近となり大高での三年間をふり返ると、本当に短いものでした。特に受験生としてのこの一年間はとても早く時間が過ぎ、私は焦りから、思うように勉強ができなくなることもあり、焦ることの怖さを感じました。みなさんも、受験に対して先延ばしにしたい気持ちはあると思いますが焦らないためにも早いうちから自分と向き合い、行動を起こし、自分のペースを保ち続けることが大切だと思います。文武両道というのは簡単ではありませんが、未来のために頑張ってください。

五組 須 田 泰 生

常に高みを目指す姿勢であることが受験を勝ち抜くために必要な要素だと思います。早い段階から限界を決めてしまうのは損です。具体的な目標を設定することで意識が高まるので、それに関する情報や自分に足りない物、明日、一ヶ月後、半年後にどうなっているかなければならないのが明確に見えるようになってくるはずです。敵を知り己を知れば百戦危うからず、です。頑張ってください。

新たな 旅立ちに 向けて

一組

担任 坂井 樹史
副担任 大野 修弘

卒業おめでとう

担任 坂井 樹史

先日。朝、顔を洗う私の背後から小学四年生の息子が「言いたいことがあるんだけど。怒らん？絶対に怒らん？」と聞いてくる。「怒らんわあや」と投げやりに答えたところ、「ニヤリ、まさしく「ニヤリ」といった笑みを浮かべて「白髪、増えたね。」「・・・」

息子よ、父はそれで怒るような狭量な人間ではないぞよ、それにしてもその「ニヤリ」は何だ？先に言質をとる愉悦を既に覚えているのか？父が平然と前言を翻すような人間だったかどうかの、などと思いつつ鏡を見る。

確かに増えた。「ここ数年で増えた。毎朝鏡の前に立つが、じつくりと鏡を見ることのない私（だいたい私が毎朝鏡をしげしげと覗き込んでいたら気持ち悪いではない



か）は多少の驚きを感じた。そして、ふと、全く地に足のつかないまま飛ぶが如くに過ぎ去った数年を思った。思うに、目の前にあっても見えていないものは実に多いのだ。「人は見たいもののしか見ない」とは力エサルと言葉だったか。そして、普段見えていないものが目に留まった時、決まって何かをふと思う。

数十年後、卒業生の皆さんが何かに目を留めふと高校生活を思うとしら、派手でなくとも地に足がついた人生とともに、であってほしいと思う。

卒業おめでとう。

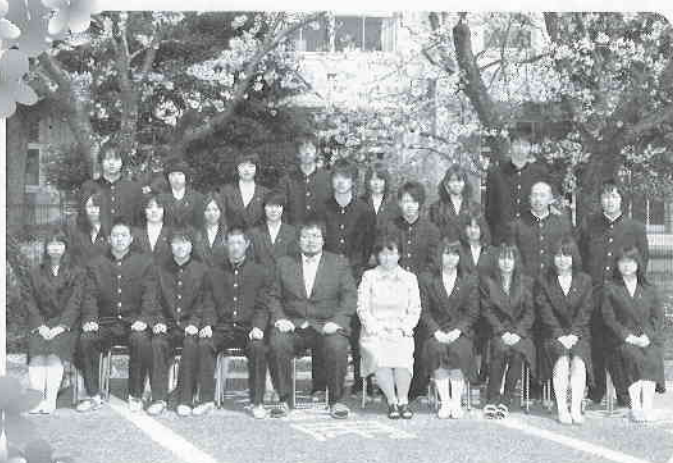
二組

担任 平田 敏
副担任 中島眞由美

卒業生のみなさんへ

担任 平田 敏

私は「食べる」ことが好きです。人はみかけによらないものです。そんな私は美味しいものに出会うととても嬉しい気分になります。そして自分でも作ってみようと思います。これまで食べてきた経験だけをもとに再現してみようとするときもあれば、作った人にレシピを教えてもらって作るときもあります。そして最初は真似から始まり、自分の好きな味に近づけるべく、自分なりのアレンジを加えていきます。最初からオリジナルの料理を作ることにはなかなか難しいことだと思います。



おそらくこのことは料理に限ったことではないでしょう。全くの新しいモノをつくるということは並大抵のことではありません。それが求められる場面もあるかもしれませんが、いずれにしても既成のモノがどんなものなのかを知っている必要はあるでしょう。

高校を卒業してから「学び（真似）」はずっと続くでしょう。そのことを大切にしたいと思っています。そしてそれを肥しに、少しずつ自分なりのモノを作れる人になって欲しいと思います。そうすればもっと人生が楽しくなると思います。料理も楽しいです。

「卒業おめでとう」ございます。

五組

担任 田中 求
副担任 今若 誠己

いつか来る、その日のために

担任 田中 求

さびしくてなりません。とても素直におめでとうという気にはなれません。わずか二年とはいえ、皆さんとの日々は僕の永遠に続いてほしい日常であり、それが今終わろうとしているのですから。着任の日から二年、いやな気持ちになることよりも、皆さんの優しさと素直さに心を動かされることのほうが圧倒的に多かったな、というんな出来事や皆さんの笑顔を思い出しています。いや実に、さびしくてなりません。

皆さんは「なぜ高校に行くのか？」と考えたことはありませんか？僕にはそれを完全に定義することはできませんし、する必要もないと思っています。しかし、自分の経験から考えると、高

三組

担任 松原 隆
副担任 大室 菜里

出力しよう！

担任 松原 隆

パソコンを活用するのにソフトが必要なのに、人間の脳も活用するにはソフトが必要で、それには成功するソフト・成功できないソフトの二種類があるらしい。脳では入力した情報から記憶のネットワークを張りめぐらせてソフトを作り、それが出力される。行動に移してそのことが確認される、とその情報が強化、再入力され、さらにバージョンアップ！これを繰り返して成功するソフトを作っているらしい。

○今、みんなが「できない」と思っていることは、かつて出力すること回避したのではないか？



○みんなが「どうせ無理」と思っていることは、もしかしたら出力しないままの単なる思い込みではないか？

○「できない」「どうせ無理」と思い込んでいることを、実際に行動して確かめてみたことがあるのか？

行動してないのにできないと思いついて行動する場合、必ず過去の回避があるはず。まずは思い切って行動するしか方法はないのです。行動して失敗することを恐れるよりも、何もせず回避することを恐れる！です。

四組

担任 福田 秀孝
副担任 竹野内 力

宇宙の神秘

担任 福田 秀孝

みなさんの受験勉強がスタートした頃、物理界では『ヒッグス粒子の発見』という大きなニュースが飛び込んできました。存在が予言されてから、その後姿が捉えられるまで半世紀近くかかりました。宇宙が誕生して一三七億年が経ちましたが、宇宙についてはまだまだ分からないことがたくさんあります。みなさん知っていましたか？私たちは全宇宙のたった四%しか知らないのです。残りの九十六%については未だ謎で、「ダークマ

ター」とか、「ダークエネルギー」と言われています。

卒業を迎えたみなさんに伝えたいのは、宇宙の話ではありません。ヒッグス粒子と同様、ダークマターなどもやがてその正体が明らかになるはず。ただただその知識や技術を持っていないだけです。みなさんにも同じことが言えるのではないのでしょうか？みなさんが見ている自分とはほんの数%にすぎないかも知れませんが、まだ見ぬ自分を知るために、私たちは学び知識をつけていくのだと思います。これから自分の興味のある分野に進んで行かれるみなさん、学び続けてください。そして、新しい自分を発見してください。



校での生活はやはり大きな意味を持っていると思います。

高校生活は、以降のすべての生活の土台であり出発点。自分の原点。これから先どんな高次の営みに携わろうと、皆さんはそれに高校時代までに培った知的筋力を基盤として立ち向かっていくのです。願わくば、いつか来る、その日：自分がことをなす時、自分が最初からやり直さねばならなくなった時、もう駄目だと心から諦めそうになった時に状況を打開するための地力を養った三年間であってほしい。

いつかまた、「いつか来るその日」を超えてタフに生きている皆さんに会うことを楽しみとして、今後しばらく僕も頑張って生きていくとしましょう。元気で！いややっぱ、素直に：卒業おめでとう！



【学校評価アンケートの結果について】

本年度の学校評価アンケートの結果をお知らせします。「学校評価」の制度は、本年度の本校の学校活動を、生徒・保護者・教職が様々な項目で評価し、その結果を次年度の目標設定や改善策に生かして、より充実した教育活動の実践につなげていくものです。

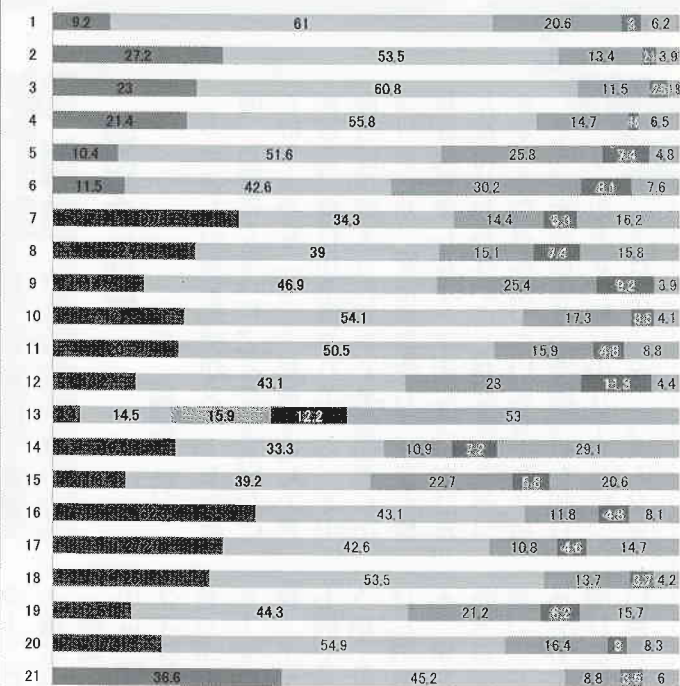
今後は、このアンケート結果をふまえて、各担当分掌、学年会で反省と改善策を検討し、2月下旬の学校関係者評価委員会の討議を経て、3月中に取りまとめで公表いたします。

保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

平成24年度 大田高校に関する生徒によるアンケート（全体：434名回答）

	評価項目	平均
1	本校は、今年度の重点目標（授業の工夫・改善、学校行事への主体的参加、人権を尊重する生活態度の育成など）を分かりやすく伝えていきますか。	2.8
2	本校には、特色や良さがあると思えますか。	3.1
3	本校には、学習にきちんと取り組める施設・設備が整えられていますか。	3.1
4	本校は、生徒の安全確保を適切に行っていると思えますか。	3.0
5	授業（内容・進度など）に満足していますか。	2.7
6	授業が分からないとき、十分なケアをしてもらっていると感じますか。	2.6
7	部活動の現在の活動内容に満足していますか。	3.1
8	部活動の活動時間は適切であると思えますか。	2.9
9	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていると思えますか。	2.7
10	進路講演会や学年集会等を通して、進路に関する情報は十分得られましたか。	3
11	キャリア教育（進路学習）を通して、自分の生き方について考えることができましたか。	2.9
12	土曜補習（全学年対象）や放課後補習（3年対象）は有意義ですか。	2.6
13	スクールカウンセラー事業は活用しやすいですか。（案内・実際の相談等）	2.2
14	保健室では適切に対応してもらっていると思えますか。	2.9
15	健康・環境に関する必要な情報が得られていますか	2.7
16	図書室は利用しやすいですか。	3.1
17	図書館には皆さんの読書意欲を喚起するような本が入っていますか。	3.1
18	学校は面談等を通して生徒理解や個に応じた進路支援に努めていますか。	3
19	学校は生徒の学校行事やボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.7
20	学校は皆さんの学習習慣や生活習慣の確立のために努力していると思えますか。	2.9
21	総合的に見て、本校に入学して良かったと思えますか。	3.2

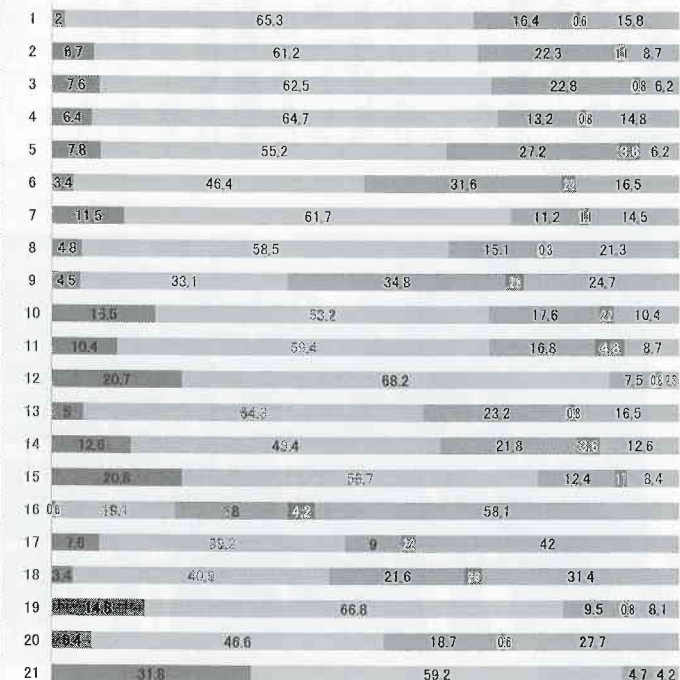
■とてもそう思う ■だいたいそう思う ■あまりそう思わない ■全くそう思わない ■わからない



平成24年度 大田高校に関する保護者によるアンケート（全体：358名回答）

	評価項目	平均
1	本校は、今年の重点目標（授業の工夫・改善、学校行事への主体的参加、人権を尊重する生活態度の育成など）を分かりやすく伝えていきますか。	2.8
2	本校には、特色や良さがあると思われますか。	2.8
3	本校には、学習にきちんと取り組める施設・設備が整えられていると思われますか。	2.8
4	本校は、生徒の安全確保を適切に行っていると思われますか。	2.9
5	何か心配なことがあれば、学校に気軽に相談することができますか。	2.7
6	PTA総会、授業公開週間など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	2.6
7	「泰山木」・大田高校ホームページは、学校の様子をよく伝えていきますか。	3
8	本校の授業（内容・進度など）に満足しておられますか。	2.9
9	授業が分からないとき、十分なケアをしてもらっていると感じられますか。	2.5
10	部活動の現在の活動内容に満足しておられますか。	2.9
11	部活動の活動時間は、適切であると思われますか。	2.8
12	服装・頭髪等本校の生活指導はきちんと指導がなされていると思われますか。	3.1
13	保護者進路説明会やホームページ等を通じて、進路に関する情報は得られましたか。	2.8
14	キャリア教育（進路学習）を通して、お子様が自分の将来について考えるようになりましたか。	2.8
15	土曜日補習（全学年対象）や放課後補習（3年対象）は、お子様にとって有意義ですか。	3.1
16	スクールカウンセラー事業は活用しやすいですか。（案内・問い合わせへの対応・実際の相談等）	2.4
17	保健室の生徒への対応は適切だと思われますか。	2.9
18	健康・環境に関する必要な情報が得られていますか	2.7
19	本校は、面談等を通して生徒理解や個に応じた進路支援に努めていますか。	3
20	本校は、生徒の学校行事やボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.8
21	総合的に見て、お子様を本校に入学させて良かったと思われますか。	3.3

■とてもそう思う ■だいたいそう思う ■あまりそう思わない ■全くそう思わない ■わからない



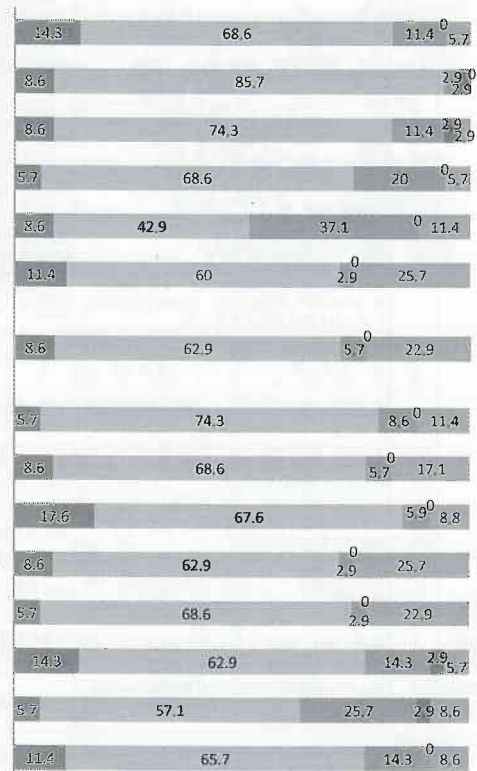
平成24年度 学校評価（教職員による自己評価）（35名回答）N0.1

	重点目標	評価項目	平均		■ 十分できている	■ だいたいできている	■ やや不十分である	■ 不十分である	■ わからない
学校重点目標	授業の工夫・改善によりわかる授業を目指して～	よりわかる授業を目指して授業作りの検討、指導法の改善に努めたか。	2.9	1	8.6	74.3	17.1	0	0
	やる気を育てる生徒指導の充実	面接の実施などにより、生徒の意欲とやる気を引き出す生徒指導ができたか。	2.8	2	0	80	20	0	0
	タイムリーな進路指導の実現	早期のキャリア教育やタイムリーな進路情報の提供により生徒の進路意識を高めることができたか。	2.8	3	5.7	68.6	22.9	0	2.9
	自他の生命・人権を尊重する生徒の育成	生徒の人権意識を高め、互いを尊重する環境づくりができたか。	2.9	4	5.7	82.9	11.4	0	0
	積極的な生徒募集と広報活動	地域との連携やオープンスクール・学校説明会などで積極的な広報活動・情報発信ができたか。	2.7	5	5.7	54.3	31.4	2.9	5.7
総務部	校内組織が有機的に機能していくように校務分掌・学年会等との調整を図り、社会変化に対応した活力ある学校運営を支援する。	校務分掌・学年会等との調整を図り、学校行事や会議が機能するよう支援していたか。	3.3	6	31.4	65.7	2.9	0	0
	保護者や地域社会と連携して、よき伝統に学びながら、社会に開かれた学校作りを支援する。	PTA等との連携を通して、社会に開かれた学校作りを支援していたか。	3.2	7	20	65.7	0	11.4	2.9
	保護者や地域社会に対して、各種の情報を提供する。	「PTA広報・泰山木」「大田高校HP」「授業公開週間」などを通して、各種情報を提供していたか。	3.0	8	23.5	61.8	8.8	5.9	0
教務部	魅力と活力のある学校づくりの前提として「良く解る授業」の実践をはかる。	研究授業・公開授業の実施による学習指導の研究と共有化を図ったか。	2.8	9	8.6	60	28.6	0	2.9
	主体的な学習態度の育成を通して、生徒の学力の定着と進歩をはかる。	進路指導部・教科会・学年会と連携し、学習指導の体制を整えたか。	2.7	10	14.3	40	34.3	5.7	5.7
	新教育課程の申請手続きと運用上の整備、研究に努める。	教育課程の申請・変更手続きと運用上の整備・研究に努めたか。	2.8	11	11.4	51.4	20	5.7	11.4
	中高の連携を深め、生徒募集に努める。	中高連絡会等の会議や進路説明会、オープンスクールを通して、生徒募集に努めたか。	2.8	12	8.8	58.8	20.6	5.9	5.9
生徒指導部	基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を図り、充実した学校生活への支援と明朗で規律ある生活態度を育成する。	頭髪・服装等の指導が徹底できたか。	2.8	13	11.4	57.1	31.4	0	0
	安全で安心な学校生活を保障するとともに、交通マナーの向上と人権保護意識の高揚を図る。	交通マナーを遵守させることができたか。	2.7	14	8.6	48.6	37.1	0	5.7
	部活動、生徒会活動等の充実を図るとともに、地域社会、家庭、関係諸機関等との連携を強化する。	部活動指導や大高祭充実のために指導したか。	3.2	15	22.9	71.4	0	5.7	0
進路指導部	進路実現のために必要な学力向上に努める。	効果的な補習の編成により受験に対応できる学力保障が図れたか。	2.9	16	8.6	74.3	11.4	2.9	2.9
		生徒の学力分析を迅速に行い教科指導に活かしたか。	2.9	17	2.9	80	11.4	0	5.7
		教職員の研修の支援に努めたか。	2.7	18	0	65.7	22.9	0	11.4
	適切な進路情報の提供に努める。	講演会や説明会を計画的に実施し、タイムリーな情報の発信を図ったか。	3.1	19	14.3	80	0	2.9	2.9
		ホームページを活用した情報提供を工夫したか。	3	20	20	37.1	17.1	2.9	22.9
保健部	心身の健康の保持・向上への支援をする	検診、健康観察、面談、講演などにより心身の健康に関する取り組みができたか。	3.1	22	11.4	85.7	0	0	2.9
	校内衛生環境の向上に努める	清掃計画、実施、ごみの分別等、衛生環境の向上に努めたか。	3	23	8.6	82.9	5.7	0	2.9
	教育相談の充実と情報の共有を図る	校内各部署、スクールカウンセラー、外部機関と連携し、生徒、保護者への適切な支援に努めたか。	3.1	24	20	74.3	2.9	0	2.9
	広報活動の充実を努める	保健に関する必要な情報を生徒、保護者に知らせるように努めたか。	3	25	8.6	82.9	5.7	0	2.9
図書視聴覚部	主体的な図書委員会活動を推進する。	図書委員会の主体的活動を支援していたか。	3.3	26	22.9	62.9	0	14.3	0
	生徒の図書館活用能力を育成する。	館内の環境を整備し、生徒・教職員の図書館利用を推進したか。	3.2	27	28.6	62.9	5.7	0	2.9
	他と連携しつつ図書館の利用を支援する。	視聴覚機材の管理点検に努め、授業・行事等において機材が支障なく使用できたか。	3	28	11.4	60	11.4	0	17.1
	幅広い視野に立ち資料の選定・収集に努める。	幅広い視野に立ち、資料の収集・情報提供に努めていたか。	3.1	29	11.4	80	0	8.6	0
寮務部	寮生が自主的・自立的な集団生活ができる態度の育成を目指す。	基本的生活習慣を身につけさせ、規則・規律を遵守して生活できるよう支援したか。	3.1	30	14.3	80	0	0	2.9
	コミュニケーション豊かな家庭的雰囲気あふれる寮づくりを目指す。	教職員と寮生、または寮生同士の関係作りを努めたか。	3.1	31	11.4	80	2.9	0	5.7
	寮生が学習に意欲的に取り組めるように積極的な支援を行う。	自習時間の巡視や学習指導を積極的に行ったか。	3	32	11.4	57.1	14.3	0	17.1

平成24年度 学校評価（教職員による自己評価）（35名回答）N0. 2

	重点目標	評価項目	平均
教務部	寮生が健康で、明るい生活ができる環境の整備に努める。	自主的な環境整備に努めさせ、健康的で明るい生活環境の整備を推進したか。	3
人権教育部	人権を大切にする教育を推進する。	LHR指導などを通じて、生徒の人権意識を高めていく取り組みができたか。	3
	人権について学ぶ機会を充実する。	教職員研修やLHR参観などを通じ、教職員が人権意識を高めていく取り組みができたか。	2.9
1年部	基本的な生活習慣と自立的生活態度を育成する	挨拶や時間厳守などの基本的な生活習慣の育成に努めたか。	2.8
	学習習慣の確立を支援する	日常的な学習習慣や自発的な学習意欲の向上に努めたか。	2.7
	進路意識の高揚を支援する	個人面談や教員間の情報交換により生徒理解を深め、個に応じた進路支援に努めたか。	3.1
	人権を尊重し、豊かな人間関係を形成する事を支援する	諸活動を通して、クラスの連帯感や豊かな人間関係の育成に努めたか。	3
	部活動等とおして目標に向かい努力する力・社会的協調性を育成する		
2年部	自立的生活習慣の確立を支援する	自立的生活習慣の確立を支援することができたか。	3
	人権を尊重し、豊かな人間関係を形成することを支援する	人権を尊重し、人間関係を形成することを支援することができたか。	3
	学習習慣の確立と学力の向上を支援する	学習習慣の確立と学力の向上を支援することができたか。	3.1
	面談を通じ、生徒一人ひとりに応じた進路支援を行う	面談を通じ、生徒一人ひとりに応じた進路支援を行えたか。	3.1
	各分掌・教科との連携を強化し、生徒理解を深める	各分掌・教科との連携を強化し、生徒理解を深めることができたか。	3
3年部	学力向上と進路実現の支援	学力向上と進路実現の支援ができたか。	2.9
	自律的生活習慣の確立の支援	自律的生活習慣の確立の支援ができたか。	2.7
	人権尊重の態度や調和のとれた心身の健康の育成	人権尊重の態度や調和のとれた心身の健康の育成ができたか。	3

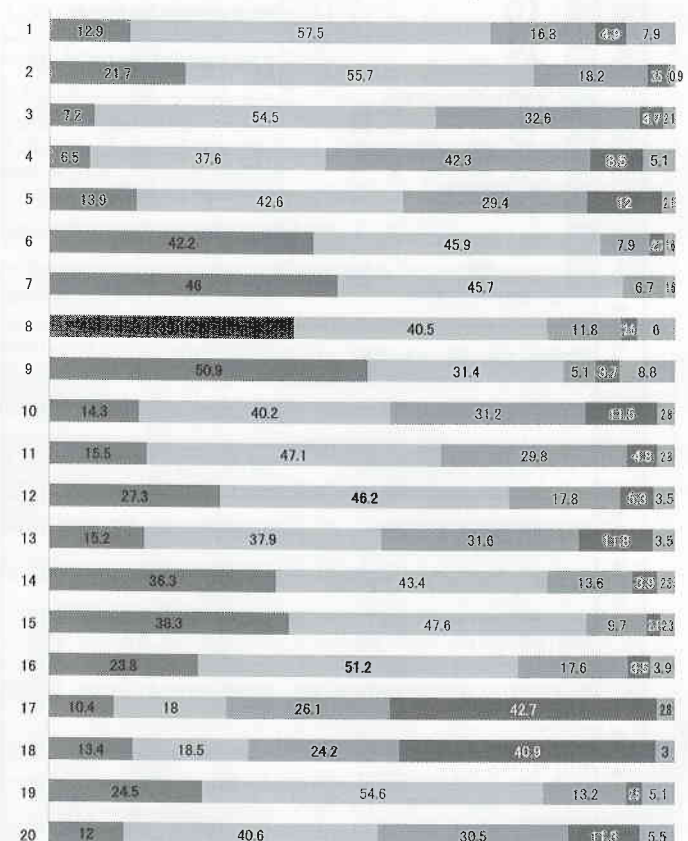
■ 十分できている ■ だいたいできている ■ やや不十分である ■ 不十分である ■ わからない



平成24年度 生徒自身による自己評価（全体：434名回答）

NO.	評価項目	平均
1	私は、本校の重点目標（授業の工夫・改善、学校行事への主体的参加、人権を尊重する生活態度の育成など）を理解し、その実現のために努力しています。	2.9
2	私は、授業をよく聞くようにしています。	3
3	私は、授業の内容がおおよそ理解できます。	2.7
4	私は、各科目の学習の仕方がわかっています。	2.4
5	私は、学力を向上させようと家庭でも日々努力しています。	2.6
6	私は、校則を守るよう心がけています。	3.3
7	私は、交通ルールを守り、安全に心がけています。	3.4
8	私は、学園祭等の生徒会活動に積極的に取り組みました	3.2
9	私は、部活動に積極的に取り組みました	3.4
10	私は、自分の進路目標を決定するために、資料の収集や担任の先生への相談をしています。	2.6
11	私は、進路目標の実現のため、学習やその他の活動にしっかり取り組んでいます。	2.8
12	私は、補習（夏季・土曜日・平日等）にしっかり取り組んでいます。	3
13	私は、模擬試験の事前・事後の学習にしっかり取り組んでいます。	2.6
14	私は、自分の健康管理を心がけています。	3.2
15	私は、学校の清掃にきちんと取り組んでいます。	3.3
16	私は、ゴミの分別や節電など環境問題を意識した生活をしています。	3
17	私は、図書館をよく利用しています。	2
18	私は、普段の生活の中に読書の時間を入れるようにしています。	2
19	私は、自分を大切に、まわりの人にもおもしろいやりを持って接するように努めています。	3.1
20	私は、普段の授業や新聞のニュースなどを通じて、人権問題に関心を持つように努めています。	2.6

■ とてもそう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない ■ わからない



健闘光る!!

(12月・2月の部活動)

文化 部

【美術】

▽第45回高校美術展

(12月14～17日 グラントワ)

絵画部門

8点入選

デザイン部門

6点入選

映像部門

1点入選

【囲碁・将棋】

▽中国高等学校囲碁選手権大会

(12月23～24日)

女子団体の部 第2位

岡 菜津希(2年)

菅原希有花(2年)

井谷 夏実(1年)



【吹奏楽】

▽全日本アンサンブルコンテスト島根県大会 (12月23日 石中央文化ホール)

木管8重奏 金賞 6位

島根県代表 中国大会進出権獲得

打楽器5重奏 金賞 12位

▽全日本アンサンブルコンテスト中国大会 (2月3日 出雲市民会館)

木管8重奏 金賞 3位

運動 部

【サッカー】

▽島根県高等学校サッカー新人大会

(12月8～9日 出雲高校)

2回戦 大田 0-2 出雲高校

▽島根県ユースリーグ

(4月21日～12月16日 県内各地)

25年度県2部リーグ昇格

【剣道】

▽平成24年度島根県高等学校剣道新人

剣道大会

(12月15～16日 大田市総合体育館)

男子団体戦

1回戦 大田 1-4 出雲西

女子団体戦

1回戦 大田 2-0 平田

準々決勝 大田 1-2 大社

男子個人戦

小谷耕生 ベスト8

中国新人剣道大会出場権獲得

【柔道】

▽島根県高等学校柔道選手権大会

(1月12～13日 石見武道館)

団体戦 開星高校に4人残し負け

個人戦

引田祥山 無差別級3位

川上 翼 60kg級 3位



【男子バスケットボール】

▽島根県高等学校バスケットボール新

人大会 (1月11～14日 松江)

1回戦 大田 53-105 松江東

【女子バレーボール】

▽島根県高等学校新人バレーボール大

会 (1月17～19日 カミアリーナ)

予選グループ戦

大田 2-0 矢上

大田 0-2 松江農林

1勝1敗で予選リーグ敗退

【弓道】

▽第31回全国高等学校弓道選抜大会

(12月22～27日 相模原市総合体育館)

団体男子

予選 12射9中で予選通過

決勝トーナメント1回戦

大田 7-8 高田商業(奈良)

1回戦敗退(ベスト16)

一年を振り返って

P T A 会長 幸 増 浩一郎

今回ご縁をいただきP T A会長を務めさせていただきました。私自身が大田高校の卒業生であり、また、当地に暮らす者としても地元高校への愛着や関心もあつたので、大田高校の発展のために、学校と保護者の橋渡し役として何かご協力できればとの思いで務めてきました。

本年度は、P T Aの組織体制等のあり方検討委員会を五回にわたって開催しました。会員数の減少に伴ってP T Aの組織等を見直すということ、この命題を田平前会長から引き継いだわけですが「初めから規模縮小ありきの議論ではない、P T Aとして今後どのような活動を行っていくことが望ましいか」という議論から始めたことで、とても前向きで活発な意見交換の場となりました。この委員会を契機に、今後、大高P T Aの活性化に繋がっていくのではないかと期待しています。

また、島根県高等学校P T A連合会(県高P連)の副会長として、種々の会合・大会に出席させていただきました。県内には、以前に青年活動を通じて知り合った方もいて、旧交を温めながら楽しく参加させていただきました。ちなみに今年七月には島根県(松江市)において中国・四国地区高P連大会が開催されます。

私は、会員相互に知り合った中での活動(顔の見えるP T A)が理想だと思います。様々な機会に、より多くの方と顔を合わせて親しくなれる場がこれから増えると思います。



保育
実習



寒稽古

